

2024 空知 取材ノート から

⑦

9月下旬に芦別と札幌で開催された全道高校ラグビー北選手権大会で芦別・羽幌・富良野の合同チームが遠軽とともに同点優勝した。全国(花園)出場は抽選で遠軽に決まったものの、芦別勢にとっては1989年度の単独チーム以来35年ぶりの快挙となった。多くの市民が、選手たちの奮闘する姿に心を打たれ、諦めず頑張ることの大切さを改めて実感したに違いない。

昨年覇者と互角

合同チームの戦いぶりは見事だった。1回戦は旭龍谷に42-14と快勝。準決勝の中標津戦は14-12と大接戦を制し、決勝では昨年度の覇者遠軽相手に17-17と一歩も譲らなかった。

昨年7月の北海道強化



全道高校ラグビー北選手権大会決勝で遠軽(青のユニフォーム)と熱戦を展開する芦別・羽幌・富良野の合同チーム=9月28日、札幌月寒ラグビー場

・交流大会を機に結成された合同チームは芦別10人、羽幌13人、富良野2人。6回ほど練習や合宿を重ね、限られた期間でチームワークを築き、最高の結果を残した。

芦別高3年の佐藤大樹さんは「ラグビーは最初、体をぶつけ合い怖いと思っていた。だが、仲間と協力しあって戦う、めっちゃくちゃ素晴らしいスポーツだった」と3年間を振り返る。

北選手権大会での経験は、部員らの今後の人生でも得がたい宝となることだろう。芦別高ラグビー部は、3年生が8人、2年生と1年生は1人ずつ。来春

ムメンバーとまた一緒にプレーできるのはうれしい。みんなでいつか全道優勝を目指したい」と笑顔を見せる。来春以降、同大ラグビー部の動向から目が離せなくなりそうだ。

3年生が卒業した後、芦別高ラグビー部員は2

全道ラグビー北大会 合同チームV 芦別高の伝統 次世代へ

卒業する3年生のうち、5人がラグビーのスポーツ推薦で大学に進学する。

再びワンチーム

このうち、片山琉雅さんは岐阜県の朝日大学へ、小野晴也さん、高貝悠聖さん、佐藤さん、吉田さんの4人は星槎道都大(北広島市)に進学予定だ。

驚くべきことに、星槎道都大には、合同チームの羽幌高の6人ばかりか、決勝で戦った遠軽高、南選手権大会優勝校の札幌山の手高からも1人ずつスポーツ推薦で入学する予定だという。

吉田さんは「合同チ

人になる。自身も北選手権大会の初戦でトライを挙げた2年の橋詰遙斗主将は「頼りがいがある素晴らしい先輩たちだった。少人数になっても頑張りたい」と前向きだ。人口減による少子化の影響で、新入生獲得に苦労している芦別高だが、ラグビー部がある学校は、空知では唯一だ。ラグビー部は1950年の創部以来、花園に7度出場している。同校はその素晴らしい伝統を積極的にPRし、入学者増につなげてほしい。これからはラグビー部の活動を注視し、その魅力を伝えていきたい。(矢野透)

おわり